

科目ナンバリング		P-GOV02 64361 LJ45			
授業科目名 <英訳>	メディアポリティクス Media Politics	担当者所属・ 職名・氏名	読売新聞東京本社論 白川 義和 説委員会副委員長 舟槻 格致 読売新聞東京本社調査 研究本部主任研究員 石崎 浩 読売新聞東京本社社 会保障部編集委員 西山 幸太郎 読売新聞大阪本社社会部次長 辻本 貴啓 読売新聞大阪本社経済部次長 辻本 貴啓 読売新聞大阪本社編集局編集委員 木下 聡		
配当学年	1・2回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	月5	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
【授業の概要・目的】					
「読売新聞寄附講義」 読売新聞の専門記者が講師となり、日本を取り巻く諸問題を取り上げ、その背景を分析するほか、問題のとらえ方や解決策を考える。日本の新聞業界の現状や新聞紙面の成り立ちを学び、新聞などのメディアからの情報収集法を習得する。					
【到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞をはじめとするマスコミの役割を理解した上で、国内外の諸問題を分析、考察し、必要な解決策を提案できる能力を育む。 ・物事の真相に迫ることの重要性を学ぶ。 ・新聞を参考に、実業界で役立つ、簡潔でわかりやすい文章で相手に伝える技術を学ぶ。 					
【授業計画と内容】					
※2024年度の【授業計画と内容】は、開講前に本欄にて公表します。以下は2023年度のものであります。					
<p>(1) 「序論」「科学技術・医療とメディア」（木下）（計3回） 初回は新聞・ネットメディアの現状や課題などについて概説。第2回・第3回は、科学技術の研究開発動向や新型コロナウイルス感染症対策に代表される医療政策に対し、メディアがどう関わってきたか、その役割や功罪を考察する。</p> <p>(2) 「選挙報道とメディア」（西山）（計2回） 民主主義の根幹となる選挙をどう報じていくべきか。公平性や公正性に配慮しながら、客観的な判断材料を提示するメディアの役割について考察する。</p> <p>(3) 「社会保障とメディア」（石崎）（計2回） 公的年金制度は2025年に大がかりな制度改正が予定されている。複雑な社会保障制度を一般読者にどう伝えたらよいか、社会保障制度を立て直すための痛みを伴う改革にメディアがどう向き合うべきかを考察する。</p> <p>(4) 「メディアと政治」（舟槻）（計3回） 政治報道と政策、政局、憲法について、具体的な国会などの動きも踏まえて考察する。</p> <p>(5) 「分断する世界における経済とメディア」（辻本）（計2回） 米中対立、ロシアによるウクライナ侵略など、世界の分断が進む中、近年の世界経済がどう動いてきたかをアジア太平洋地域を中心に考察する。また、日本経済、とりわけ2025年に大阪・関西万博の開催を控える関西経済についても展望する。</p> <p>(6) 「国際情勢とメディア」（白川）（計2回） ロシアのウクライナ侵略や中国の台湾への威嚇など、国際情勢が揺れ動く中で、メディアの報道も問われている。特派員の仕事や新聞の「社説」の作成過程を説明し、各紙の「社論」の違いなどもメディアポリティクス(2)へ続く↓↓↓</p>					

メディアポリティックス(2)

を分析しながら、ウクライナ報道のあり方などを考察する。
(7) フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

各担当講師が出すテーマごとにレポートを提出。その評価と講義への貢献度を加味して全体評価とする。

[教科書]

講義に必要な資料や新聞紙面は、その都度提供する。

[参考書等]

(参考書)

時事問題を取り上げるため、日ごろから新聞（日刊紙）を講読するのが望ましい。

[授業外学修（予習・復習）等]

必要に応じ、担当講師が指示する。
日ごろから広く時事問題に関心を持つことが前提となる。

(その他（オフィスアワー等）)

オフィス・アワーについては講義中に指示する。
講義の理解の一助として、希望者を対象に、読売新聞大阪本社（大阪市北区）の見学会を実施する。

※オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。